

<http://www.city.takasago.lg.jp/index.cfm/19,0,196,958,html>

- ・古い町屋、空き家の利活用
- ・堀川地区の歴史資産の調査と活用



高砂みなとまちづくり構想推進協議会 高砂みなとまちづくり構想推進協議会 高砂みなとまちづくり構想推進協議会 高砂みなとまちづくり構想推進協議会 高砂みなとまちづくり構想推進協議会

高砂市の魅力探訪

みなとまちづくり活動の一環として実施した工楽松右衛門旧宅とその周辺の町並みを散策！みなとまちづくり瓦版づくり隊のメンバーであり、高砂歴史ガイドクラブでご活躍されている唐津さんに案内をしていただきながら、新たな魅力を再発見してきました！ぜひ、ご覧いただき、魅力探訪に出発してください！

まちを散策していると、地元の方が話かけてくださいました！やっぱり、高砂はええとこや！



工楽松右衛門 旧宅 公開中！

知っとこ案内 公式サイト⇒<https://kurakutei.wixsite.com/kuraku>



工楽松右衛門旧宅外観

工楽松右衛門旧宅の土地・建物は平成 28 年 1 月に工楽家から高砂市に寄贈され、1 年 4 カ月の歳月をかけ、約 200 年前の建築様式に可能な限り近い形で復元されました。

舟運の歴史を持つ高砂特有の舟板を用いた舟板壁、白い漆喰、屋根には煙出しの「越屋根」、ミセの軒下の収納可能な縁台「ぱったり床几（しょうぎ）」や、板の表裏に格子を組み込み、上下 2 枚に分かれる建具「しとみ戸」など、見どころ満載！に復元されました。

- 入館料 無料 ● 開館時間 午前 9 時～午後 6 時 ● 休館日 12 月 29 日～1 月 3 日
- 駐車場 当館東隣 14 台 ● 連絡先 TEL 079-490-4790 FAX 079-490-4798

もっと知っとこ！！

案内人：昔は旧宅のすぐ東に船着き場があり、駐車場整備に伴い発掘調査をしたところ、江戸時代の南堀川遺構が良好に保存されていることが分かりました。

堀川護岸の石垣や、舟から荷物を揚げ降ろしする際に使用する雁木という石階段などが整備されています。

また、整備された旧宅の奥には再建はされていませんが、湯殿や便所の遺構などもあって、当時の生活の様子をうかがい知ることができます。



説明に聞き入る隊員



工楽松右衛門旧宅内部の炊事場



裏庭の湯殿跡、廁跡、大きな蔵跡

隊員：観察しただけでは、何の変哲もない構造物に見えますが、詳しい説明を拝聴すると、荷物を運搬する人が行き交ったり、堀川に舟がひしめくなど、当時の高砂の繁盛ぶりが目に浮かびます。また、地下に埋設された構造物を目の当たりにすると、舟運の集積地であった当時のまちのにぎわいを想像することができます。

（浅原）

隊員：旧宅が改装されてから暫らく経っていますが、一度も足を運んだ事が有りませんでした。今回、みなとまちづくり瓦版の発行に伴って行く機会を得ました。行ってみて当時の工楽松右衛門の暮らしぶりが、垣間見えて有意義な時間を過ごすことが出来ました。

高砂市民で私のように見学したことがない方は、ぜひお出かけください！

（網干）



まあ！一回行ってみて！

三嶋大明神と横綱双葉山！

知っとこ案内（東宮町）

案内人：15 歳で立浪部屋に入門し、35 代横綱となり 69 連勝という偉業を成し遂げた双葉山が、横綱に昇進した時に締めていた綱が大切に保存されています。



双葉山の横綱



奉納された太鼓

もっと知っとこ！！

案内人：堀川地区には、狭い範囲に約 20 もの稲荷神社が祀られているとても珍しい地域です。稲荷神社は、商売繁盛・五穀豊穡の神様と言われていますが、航海の無事を祈ったり、疫病の流行を鎮めるため祀られたとも言われています。一つ一つに長い歴史があり、その佇まいからは現在も地元の皆さんが大切にされていることが良くわかります。

隊員：大分県出身の双葉山の横綱の綱がなぜ高砂に存在するのか、一瞬不思議に思いました。昔も今も相撲界は谷町筋の覇者が大きな力になっています。今で言う「社会貢献活動」の一環で、綱や太鼓がその御礼の品であったと聞き、財力の大きな偉人もあったのかと感心しました。これは個人の財力もさることながら、地域の豊かさがないと不可能な話で、往時の町の繁栄を垣間見ることができました。

（浅原）



散策を終えて！

隊員：編集委員会として工楽松右衛門旧宅周辺を歩き、駐車場、トイレ、雁木、案内板などがしっかりと整備されて観光地の拠点としてはよく出来ていると感じた。しかし、立派に修理された旧宅の中に入ると、ただガランとして、「船主集落」の幟（のぼり）がなければ百姓家か商家かと見間違えばかりである。松右衛門や北前船関係の資料や蔵書、モニュメントなどの集積にもっと力を入れてはどうだろう。（唐津）

隊員：高砂町には、たくさんの町が存在し、その町の人にしか知られていない見どころがたくさんあります。高砂町を散策しましたが、楽しい半日を過ごす事ができました。

高砂町、いいとこやで！

（網干）

マッチ：高砂町には、地元の人も知らない、自慢できるところが沢山あるんだね！



探してみよう！

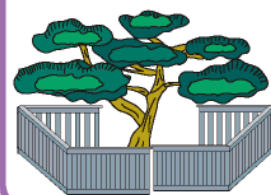
備前焼の狛犬

案内人：高砂神社にはたくさんの狛犬があります。経年劣化で頭の部分が欠けてしまっていますが、お尻を高く持ち上げ頭を低く構えた姿勢をとる狛犬や、備前焼きで作られた狛犬。珍しい狛犬を探してみてください！



備前焼の狛犬 見つけれられるかな？

相生の松！の不思議？！



案内人：黒松（雄松）と赤松（雌松）の幹が途中で合わさり、夫婦の契りの深さにたとえられる相生の松。一本から分かれ

た黒松（雄松）の針葉はとても固く、赤松（雌松）の針葉は柔らかくしなやかです。また、色も随分と違っています。よく観察して違いを探してください！

竜山石の側溝！

案内人：高砂町は江戸時代初めに姫路藩により建設された計画都市であり、碁盤の目に道路が走る町並みも特徴の一つです。また、当時としては道路幅も広く、両側には竜山石を使った側溝が設けられていました。現在も確認できる場所がありますので、探してみてください！



竜山石が使われている側溝

高砂神社と常夜灯、相生の松！こまちゃん発見！

知っとこ案内

案内人：古くから、謡曲「高砂やこの浦船に帆を上げて・・・」と、親しまれている高砂神社。その正面の立派な大鳥居は、阪神淡路大震災で倒壊してしまった後の平成 7 年に建て替えられたものです。倒壊した鳥居は境内にモニュメントとして再利用されています。こまちゃんもその一つ。可愛い姿をぜひ見つけてください！



大鳥居を再利用して作成されたこまちゃん！

もっと知っとこ！！



高砂神社の丸瓦

姫路藩主 本多忠政の紋



案内人：高砂神社の屋根瓦には、丸に立ち菱紋が入っています。これは、尊崇熱く、社殿を旧社地に再建した本多忠政の紋に由来するもので、徳川家、加茂神社とさかのぼることができます。アオイ（葵）というのは、あうひ（逢う日）という言葉からきたものとされ、人と人との出会いを大切にという願いも込められていると考えられています。